

令和 7 年度 地震・津波防災訓練

《座間味村 訓練実施要領》

1 趣旨・目的

この訓練は、大規模な地震・津波の発生を想定して、県民等の避難行動に特化した県下全域を対象とする実践的な訓練であります。

座間味村は島しょ地域を有し、沿岸部の低地帯に居住地域が形成されていることから、大津波が発生した場合に甚大な被害が予想されます。地震発生、津波襲来を想定した訓練を実施することにより、村民等に対し「地震発生時にはとっさに身を守る行動を、津波襲来時には高台へ率先して逃げる」意識付けを図るとともに、村内全域の学校（幼稚園、小中学校）をはじめ、自治会、福祉施設、宿泊施設等事業所、並びに村民が合同で訓練に参加することで、突発的な災害時における防災・減災への意識啓発、防災体制や津波避難計画等の検証を行うことにより、地震・津波災害にかかる避難体制の向上を図ることを目的とします。

2 訓練のねらい

実施要領に基づき、以下の効果を期待して行います。

- (1) 津波浸水想定区域、津波避難場所の認知及び適切な津波避難行動の理解
- (2) 避難目標時間の検証
- (3) 避難行動における問題点・課題の整理

3 実施日時

- (1) 訓練の実施日時について
 - ・訓練の実施日時は、以下のとおりとします。

令和 7 年 11 月 5 日（水）10：00～11：00 頃

4 地震・津波の想定

- (1) 想定する地震・津波等の現象は、以下のとおりとします。
 - ・令和 7 年 11 月 5 日（水）10：00 に、村内全域で強い揺れを観測
 - ・10：03 「沖縄県本島地方」など県内全域に津波警報（大津波）が発表
- (2) 浸水の範囲・深さ

想定震源域は特定せず、全県下、大きな揺れと最大規模の津波来襲を想定します。

※この訓練では、地震の揺れによる建物の倒壊や道路の閉塞などは想定しないものとします。

5 実施場所

村内全域とします。

- (1) 緊急地震速報対応訓練：座間味村全域：広報・伝達・シェイクアウト訓練
- (2) 津波災害広域避難訓練：座間味村内の海に面している地域や河川沿い及び低地帯地域

6 訓練の周知方法

訓練当日は、防災行政無線から避難情報などの放送を予定しています。

また、津波に関する情報伝達訓練として、10 時 03 分頃に沖縄県より携帯電話へ「緊急速報メール」（大津波警報通知）（以下「エリアメール等」という。）が配信される予定。（自動車等の運転の方は、エリアメール等が鳴っても運転に専念していただき、運転中の携帯電話の操作は絶対にしないでください。）

7 主催

主催：沖縄県・座間味村

8 訓練参加対象団体等

住民組織（自治会）、学校（幼稚園、小中学校）、福祉施設、観光施設、事業所、村民、地震、津波避難対策を講じる必要のある施設

9 訓練のねらい

訓練別	訓練のねらい	
緊急地震速報対応訓練	① 緊急地震速報の理解 (シェイクアウト訓練)	緊急地震速報の仕組みを知り、それを見聞きした場合の行動を学習し試してみる。
	② 家具の固定等	突発的に発生する地震に対し、被害を最小限にするため、家具の固定や出口の確保、建物の耐震化の重要性を理解する。
津波災害広域避難訓練	③ 地理的環境の理解	居住（通勤・通学）する地域の海拔高度を知る。
	④ 避難場所等の事前確認	安全な場所（高台避難場所）やその場所までの経路を事前に確認する。
	⑤ 避難にかかる時間の理解	居住等の地点から避難場所まで徒歩等で移動し、要した時間を計測・把握する。避難場所まで時間がかかる場合には、近くの高層建築物などを事前に確認する。
	⑥ 避難行動の課題	避難経路上における問題点を把握し、今後の避難計画の課題として活用する。

10 訓練の時系列（進行予定表）

訓練当日のスケジュール

時間	訓練の実施内容	学校等の訓練対応	村民・事業所等の訓練対応
09 時 45 分頃	○ 訓練行動計画に基づく事前準備 ○ 防災訓練実施広報（村同報無線）		
10 時 00 分頃	○ 緊急地震速報放送 ○ 全国瞬時警報システム（J アラート）の受信情報を防災行政無線から放送	○ 地震による揺れから身を守る行動 【シェイクアウト訓練】地震発生後の安全行動 1-2-3 ①ドロップ : 「まず低く！」 ②カバー : 「頭を守り！」 ③ホールドオン : 「動かない！」	
10 時 01 分頃	○ 地震発生 防災行政無線から地震の疑似音を放送	○ 地震による揺れから身を守る行動の継続（避難出口の確保、火の始末などを実施）	
10 時 01 分頃	○ 安全確認・避難準備		
10 時 02 分頃	○ 防災行政無線による避難の呼掛け	地震による揺れが収まったと同時に避難行動又は避難準備の開始	浸水想定区域内やその直近及び河川沿いにいる方は、高台などへ避難する準備を開始
10 時 03 分頃	○ 津波警報（大津波）発表 ○ 防災行政無線（避難指示）	○ 津波避難場所への移動開始（徒歩）	
10 時 04 分頃 ～ 10 時 50 分頃 避難行動	○ 同報系無線放送（通行上の注意、避難の呼掛けを継続して実施） ○ 広報車の巡回放送（同上） ○ 避難経路の交通整理 ○ 避難場所での避難者受入の案内	○ 高台への避難行動とともに、避難先での児童・生徒等の人員・安否を確認する。	お隣近所協力して高台等へ避難を実施 避難先では各自協力して、避難者の人員・安否を確認する。
11 時 00 頃 訓練終了	○ 訓練終了 防災行政無線による訓練終了の広報を実施	○ 各学校へ戻る。	○ 現地解散 ○ 事業主の指示に従って解散

11 津波避難訓練時における安全確保について

避難訓練では、津波災害時において施設外に避難を必要とする幼稚園、学校等の児童生徒が避難場所まで徒歩等による実動避難を予定しています。

災害の規模が大きいくほど、公的機関の人的な支援には限界があります。また、実際に津波等で早急な避難を要する場合、公的機関から安全監視、道路誘導等が駆けつけることは不可能に近いと考えます。「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助共助の精神に基づき、組織的に助け合うことが被害の拡大を防ぎ、早急な避難が可能になると考えます。

各自で安全を確保した上、可能な範囲で訓練に参加してください。

また、今回も座間味村内の各ビーチで常時警備をしているライフセーバーの方々にも協力依頼をしています。遊泳中の観光客に対しても避難誘導を実施し、一時遊泳禁止としていただく措置を講じる予定です。事業者の皆様におかれましても、1年365日の中のたった1日の訓練です。お忙しいとは思いますが、事業者、従業員として取るべき行動、観光客に対する避難の周知方法等、災害発生時に即時行動できる体制作りにご協力をよろしくお願いいたします。

12 訓練の中止

以下の（１）に該当する場合は、シェイクアウト訓練のみ実施し、高台への実動避難訓練については、中止とします。

（１）訓練は小雨決行ですが、訓練当日の８時００分時点で大雨等の気象警報等が発表され、実災害が発生又は発生するおそれがある場合。

（２）訓練中止の場合は、座間味村役場から関係機関、団体に連絡するとともに、防災行政無線で広報を実施します。

参考：シェイクアウト訓練方法

1. 訓練のねらい

地震が発生した際の安全確保の行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につけるとともに、村民を含む訓練参加者全員が非常時対策の見直し、防災グッズの内容・配置の確認、怪我を防ぐための身の回りの安全対策をするように促すことをねらいとする。

2. 訓練内容

自らの命は自ら守るという「自助」の取組みに重点を置き、訓練参加者全員が緊急地震速報を合図に、それぞれの場所で一斉に安全確保を行う訓練とする。

3. 訓練参加時間

令和7年11月5日（水）10:00～10:02

4. 訓練場所

学校等（幼稚園、小中学校）、福祉施設、事業所、宿泊施設、自宅等）

5. 参加対象

訓練参加者全員

時間	実施事項	場所
10:00	防災行政無線による緊急地震速報 地震発生直後の「安全行動 1-2-3」 1. まず低く：ドロップ 2. 頭を守り：カバー 3. 動かない：ホールドオン  しゃがむ かくれる まつ DROP ! COVER ! HOLD ON !	訓練参加者各自の場所
10:01	「安全行動 1-2-3」を終了し、避難出口の確保、火の始末、ブレーカー操作で電力遮断などを行う。 ※各施設においては、施設管理者または代表者の指示に基づき、避難準備（状況に応じて避難開始）	
10:02	シェイクアウト訓練の終了	